

【件名】

ゼロカーボンシティの実現に向けた「(仮称)環境行動ポイント」の導入について

【要旨】

ゼロカーボンシティの実現に向け、期待される区民の脱炭素の取組に対しインセンティブを付与することにより新たな実践を喚起するため、「(仮称)環境行動ポイント」を導入する。

1. 背景

区は、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指している。区内の CO₂排出量は、民生家庭部門が約半数を占めていることから、家庭からの排出量削減が喫緊の課題となっている。特に、これまで環境に関心を払ってこなかった区民に対し、行動変容を促す必要がある。

この間、平成 23 年 7 月には「なかのエコポイント制度」を導入し、運用を続けてきたが、紙のシールを配布し、台紙に貼って提出するというアナログなポイント付与の方法は、電子化の時代にそぐわなくなってきた。また、申請者が限定され広がりが見られなかった等の課題もあり、新たなポイント付与は終了している(交換は令和 8 年 3 月末まで)。

区民一人ひとりが脱炭素の大切さを意識し、日常生活の中でできる努力を継続的に行うことが不可欠であり、効果的な動機付けのための新たな仕組みが求められている。

2. ポイント導入の趣旨

本制度は、多くの区民が脱炭素やごみ減量の取組を「自分事」と捉え、環境行動を当たり前のこととして行う機運の醸成を目的とする。

区民が、このような「環境行動」を実践した際に、区がデジタル地域通貨「ナカペイ」のポイントを付与することにより、多くの区民に「新たな行動の第一歩」を促し、定着を促進するとともに、併せて地域経済の活性化に寄与することも目指す。

3. ポイントの対象とする環境行動及び付与ポイント(案)

		ポイントの対象となる環境行動	単位	想定するポイント数
子どもエコ講座		夏休みの小学生向け講座に参加し、学んだことを生活の中で生かす表明をして実践するほか、家庭での話し合い等を行う。	1回	100P
地球温暖化防止講座		区民 10 人以上が集まり、地球温暖化防止に関する区による出前講座の実施を企画し、学ぶ。講座で学んだ脱炭素に向けた実践をすることを表明する。	1回	100P
(仮称)なかの気候区民会議		無作為抽出で案内を受けた学習会に参加し、他の参加者とともにワークショップによって今後自分たちが実践し、他の区民にも推奨する環境行動についての発表を行う。	1回	3,000P
デコ活コンテスト	最優秀賞	脱炭素につながる日頃の行動を広く区民に紹介したり、広く区民の心に響く「なかのエコフェア」のサブタイトルを考案する等の「デコ活コンテスト」に応募し、最優秀賞または優秀賞を獲得した。	—	2,000P
	優秀賞		—	1,000P
みどりの貢献賞	貢献賞	自宅の敷地や地域の公共施設における緑化に貢献した活動により、近隣等から「みどりの貢献賞」候補に推薦され（自薦も可）、「貢献賞」または「奨励賞」として表彰された。	—	2,000P
	奨励賞		—	1,000P
生ごみ処理機・コンポスト化容器 あっせん事業の活用		区のアッセン事業を活用して生ごみ処理機やコンポスト化容器を購入し、燃やすごみの約 3 割を占めている生ごみの減量に取り組む。この取組により、生ごみを乾燥または堆肥化し 80%以上の削減を目指す。	1件	2,000P

4. ポイントの利用方法

付与するポイントは、デジタル地域通貨「ナカペイ」として、区内の加盟店舗等での買い物等に1ポイントを1円として利用できる。

5. 導入時期

令和8年4月(予定)